

2026年2月2日

臨床研究に関するお知らせ

市立吹田市民病院 外科を受診された患者さまへ

課題名:手術業務における若手外科医の働きがいに影響を与える因子の検討
(アンケート調査研究)

1. 臨床研究について

市立吹田市民病院では、最適な治療を患者さまに提供するため、病気の特性を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。このような診断や治療の改善の試みを一般的に「臨床研究」と言います。その一つとして、現在、当科では、手術を受けられた患者さまを対象として、探索的検討に関する「臨床研究」をおこなっています。今回の研究の実施にあたっては、市立吹田市民病院臨床研究審査委員会の審査をへて、研究機関の長より許可を受けています。

2. 研究の目的や意義について

近年、メディアでも取り上げられることが増えてきている外科医不足の問題は、医療の信頼と安心に直結する問題として、我々外科医にとって乗り越えるべき艱難辛苦となっています。そして、若手外科医の置かれた環境は時代変化に伴い、大きく変化してきております。若手医師の修練における問題点は働き方改革だけではなく、複合的な構造問題があり、①若手医師が修練すべき内容と修練期間の変化、②若手外科医の労働制約、③若手医師の意識変化、④指導医側との意識のズレ、⑤一般企業のような新人指導手法が非導入、などが挙げられます。そのため、これまでと同様の古典的な指導法では通用しない時代になりつつあります。実情に合わない指導法を強要することは、若手医師の成長を阻害するだけでなく、人材流出やドロップアウトなどにつながる可能性があります。人材育成の観点からも至適指導法の探索は急務であるといえます。なにより、これまでと異なる視点を持つ必要があるということを、指導医サイドが認識し、最も適した指導方法を模索していかなければなりません。

そこで、若手外科医を軸においた視点で考えることがより重要であり、若手外科医たちが働き甲斐をどう感じているのかを明らかにすることは、本質的理解に重要な前提となります。若手外科医の働き甲斐を構成する要素としては、働きがいと働きやすさの2つの要素に分けて考える必要があります。業務内容としても、手術業務+病棟業務+指導環境などのいくつかの内容から成り立っているものですが、本研究においては、まず、もっとも客観的に評価が可能な「手術業務における働きがい」についてを注目しています。本研究の目的は、アンケート調査を通じて、手術業務における若手外科医の働き甲斐を評価し、働き甲斐に影響を与える因子を検討することです。

3. 研究の対象者について

市立吹田市民病院 外科に所属しているレジデントを対象とし、アンケート調査を行います。
(患者さんに対するアンケート調査ではありません)

4. 研究の方法について

この研究では、若手外科医へのアンケート調査を通じて、手術業務における若手外科医の働きがいを評価し、働きがいに影響を与える因子を検討します。

5. 患者さまの個人情報の取り扱いについて

本研究では、患者さまのデータを扱いません。個人情報を含め、患者さまの診療情報や記録のデータ収集を行いません。本研究で扱うデータは、外科医に対するアンケート調査のみです。

6. 資料や情報の保管などについて

この研究において得られた研究情報などは、原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、市立吹田市民病院 外科 林覚史の責任のもと、10年間保存した後、研究用の番号などを消去し、廃棄します。

7. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

8. 研究の実施体制について

研究期間は、研究承認日～2027年3月31日までです。

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所(分野名等):市立吹田市民病院 外科

研究責任者:外科 医長 林覚史

9. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談などがある場合は、下記窓口までご連絡ください。

連絡先:〒564-8567 大阪府吹田市岸部新町5番7号

TEL 06-6387-3311

研究責任者:市立吹田市民病院 外科 医長 林 覚史